2022 年 1 月 17 日

太陽光も、蓄電池も、電気自動車もこれ 1 台、カーボンニュートラル時代をリードする新トライブリッド蓄電システム®を発売

～3 つのエネルギーで究極の「家産家消」を目指す

世界初のシステムがさらにグレードアップ～

ニ チ コ ン 株 式 会 社
代表取締役会長 武田　一平
京都市中京区烏丸通御池上る
(TEL.075-231-8461)
問合せ先：上席執行役員 NECST 事業本部長
野口 直人

ニチコン株式会社は 2012 年に家庭用蓄電システムを業界に先駆けて開発・市場導入して以来、家庭用蓄電システムのリーディングカンパニーとして累計で 10 万台以上を販売してまいりました（2021 年 9 月現在）。このたび、太陽電池、蓄電池、EV（電気自動車）搭載電池の 3 つの電池をすべてコントロールし、究極の家産家消を実現するトライブリッド蓄電システム®の新商品を開発し、市場導入いたします。

本システムを 1 月 19 日（水）～21 日（金）東京ビッグサイトで開催される「第 13 回 EV・HV・FCV 技術展（EV JAPAN)」に出展いたします。

開発背景

政府が掲げた日本の温室効果ガス排出を「2050 年に実質ゼロ」という「カーボンニュートラル宣言」とそれに続く 2020 年 12 月に閣議決定された「グリーン成長戦略」などで、再エネ構成比 50～60%の政府目標と蓄電池の活用、電動車の普及拡大の方針が示されました。そして、経産省や資源エネルギー庁から、2030 年までに新築戸建ての 6 割に太陽光発電を設置する目標や蓄電システムを 2025 年に 27 万台、2030 年に 35 万台とする導入見通しが掲げられ、再生可能エネルギーの拡大とその利活用に必要不可欠な蓄電システムは益々重要なアイテムになってきています。

さらに、2030 年代半ばまでに乗用車新車販売で電動車 100%という目標が掲げられ、国内外でも EV 販売が続々と発表され、EV シフトの加速に伴い V2H システムの需要も急速に拡大しています。

また、昨今多発している台風、ゲリラ豪雨や地震などの災害時の停電にも照明、冷蔵庫、テレビ、携帯電話充電器、さらにエアコンや IH 調理器などの 200V 家電も使えるようにして、非常時の備えもしたいというニーズも高まりつつあります。

特　長

太陽光発電を設置するならトライブリッドパワコン®がおすすめ。将来、蓄電池やEVも接続できて太陽光を最大限に活用できます。

トライブリッド蓄電システム®「ESS-T3シリーズ」は、現行トライブリッド蓄電システムをさらに進化させ、性能アップ、機能アップし、電動車への充放電機能だけでなく、太陽光パワコンとしても、ハイブリッド蓄電システムとしても強力な商品力を備えました。

1．業界最大級の連系出力5.9kW、自立出力最大5.9kVAの充放電能力

太陽光、蓄電池、EV搭載電池を最大限活用できる高出力を実現。

2．全負荷200V標準搭載、蓄電池＋EV搭載電池で家まるごとバックアップ

停電時にはエアコンやIH調理器など200V機器が使用可能。

太陽光＋蓄電池で安心、さらに大容量のEV搭載電池があれば約1週間以上使える。

3．太陽光入力4ストリング、最大入力8.8kW

過積載10kWまで搭載可能、短絡電流15Aで太陽光パネルとの抜群の接続性。

4．8タイプの多彩な電池容量バリエーション

4.9kWhと7.4kWhの2種類の蓄電池を用意し、それぞれ2つまで設置可能。4.9、7.4、9.9、14.9kWhの4パターンから選択できる。後からでも設置でき、室内/屋外どちらにも設置可能。

5．使いやすさを追求したスタイリッシュな「V2Hポッド」

省スペースでEV車種に応じて最適な設置を実現。左右どちらでも充放電コネクタを接続できる利便性も兼ね備え、外壁にもカーポートにも、ポール(オプション)でも設置可能。

6．業界初「ハイスピード拡張充電：最大9.9kW」

EV充電が標準5.9kW＋ハイスピード拡張充電は最大9.9kW。普通充電器の約3倍のハイスピード充電を実現。太陽光、蓄電池を活用するので電力容量契約は60Aのままで対応。

7．太陽光でクルマを走らせる「EVモード」が誕生

日中にEVがあれば太陽光をすべてEVに充電。日中にEVがなくても蓄電池に一旦貯めて、EVが帰宅したら自動でエレムーブする新モード。

8．室内リモコン&AI自動制御など充実のネットワークサービス(無料)

見やすく使いやすいタッチパネル式の室内リモコンはHEMSなしで遠隔制御などに対応。見守りサービス、気象警報(および早期注意情報)自動制御、AI自動制御のネットワークサービスにも対応。すべてニチコンオーナーズ倶楽部からwebで簡単申し込み可能。

9．安心の長期保証、自然災害補償

パワコン、蓄電池、V2Hがすべて15年無償保証＋自然災害補償10年付。

※充放電コネクタおよびケーブルは10年、室内リモコンは5年

これらの特長に加えて、これまで停電時の備えや卒FITユーザーの経済的ニーズで重要視されていた蓄電システムが、太陽光発電を新設されたユーザーにおいても蓄電システムを導入することで経済的メリットが出る時代になってきました。

① 売電価格の低下（21年度19円/kWh⇒22年度は17円/kWhの予定）で、太陽光発電は新設であっても電力会社によっては、売電するより自家消費した方がお得な時代に突入。「地産地消」ならぬ「家産家消」の勧め。
② さらに、ニチコンオーナーズ倶楽部に加入して、AI自動制御を行えば、日々の発電量や消費量をAIが予測して、自家消費率が大きくアップできる。
③ EVを大容量蓄電池として活用すれば、夜の電力をすべて昼間の太陽光発電で賄える。
④ ガソリン車をEVに変更し、トライブリッドを活用することで、日々の通勤・買い物がすべて太陽光発電で賄える。（年間14万円のガソリン代が電気代換算で2万円、太陽光活用で実質0円）

■ターゲット顧客
・太陽光発電システムを新設されたユーザー
・太陽光発電システム設置後、年月の浅いユーザー
・卒FITの太陽光発電システムユーザー
・近い将来、電動車の購入をご検討の環境意識の高いユーザー
・電力販売契約（PPA※1）、第三者所有モデル（TPO※2）、
バーチャルパワープラント（VPP※3）用途
※1 PPA（Power Purchase Agreement）：電力販売契約
※2 TPO（Third Party Ownership）：太陽光発電などの第三者所有モデル
※3 VPP（Virtual Power Plant）：複数の蓄電システムをネットワークでまとめて制御

BRAND NEW

新しくなった
トライブリッド蓄電システム® ESS-T3 シリーズ

大きな変化を迎える社会とともに、
住まいのエネルギーにも変革を。
トライブリッド蓄電システム® が
先進的な機能はそのままに、
さらに使いやすく、さらに
パワーアップして生まれ変わりました。
太陽光発電も、蓄電池も、電気自動車も、
これ１台でまとめて OK。次世代の家庭の
エネルギーマネジメントの中心に、
なくてはならない革新的なシステムです。

HIGH-OUTPUT AND ABLE TO PROVIDE 200V

連系出力5.9kW、自立出力5.9kVAの パワフルな出力と 待望の全負荷200Vを標準搭載。

系統との連系出力5.9kWに加え、自立出力5.9kVAの高出力。
また、全負荷200Vを標準装備して災害時にも安心。
太陽光発電も、電気自動車への給電もこれ1台でOKです。

01 **太陽光パワコンとしても充実機能**

PV入力数は4回路、最大入力8.8kW、最大短絡電流15Aと太陽光パネルとの接続機能を大幅にパワーアップ(過積載10kW)。太陽光パワコンとしても充実した機能です。

02 **全負荷200Vを標準装備**

付属の専用分電盤で全負荷200Vにも対応。災害などの停電時でもエアコンやIH調理器などの200V機器を、蓄電した電気で使用することが可能になりました。

トライブリッドパワコン®

蓄電池ユニット

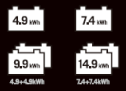
THIS LINEUP IS CLOSE TO YOUR LIFE

ライフスタイルにあわせて選べる 豊富な容量ラインアップ。 しかも後から増設も可能。

最小4.9kWhから最大14.9kWhまで、組み合わせで容量が選べる蓄電池ユニット。
ご家庭での使用量に最適な容量がセレクトできます。
しかも最初は最小限にしておいて、必要な時に後から増設することも可能です。

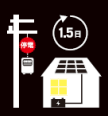
01
組み合わせで 自由に容量が選べる

4.9kWhと7.4kWhの容量の蓄電池の組み合わせで、計4パターンの容量を選ぶことができます。後からの増設も可能なのでライフパターンにあわせて自由にセレクトできます。



02
災害時にも安心

一般家庭での平均的な一日の使用電力量を約10kWhと仮定して、4.9kWhだと約半日、14.9kWhだと約1日半、停電で電力供給が止まってもいつもの生活が行えます。



03
安心の15年保証

電池性能が向上したことにより、15年の製品保証、容量保証が可能になりました。動作温度も-10～45℃と幅広く、屋内、屋外のどちらにも設置いただけます。

ELECTRIC CARS BECOME
LIKE SOLAR CARS

電気自動車も
太陽光で走らせる。
クリーンエネルギーの最先端。

電気自動車やプラグインハイブリッド車と組み合わせられることが大きな魅力。
毎日の通勤やお買い物に使っているクルマも、
昼間に発電して蓄電システムに蓄えておいた電力で充電（エレムーブ®）すれば、
毎日の電気自動車のエネルギーを自家製電気でまかなえます。

01 **自由なレイアウト**

小型のセパレートタイプならガレージの狭いスペースや家の外壁、カーポートの柱にも設置可能。V2Hポッドのケーブルも3.5mあるので、いろんな車種の給電口に無理なく差し込めます。

02 **ハイスピード拡張充電**

標準5.9kWに加え、系統電力＋蓄電池＋太陽光発電をあわせた、最大9.9kWのハイスピードで充電が可能。大容量化する電気自動車の充電に対応した高機能です。

03 **電気自動車を家庭の蓄電池に**

V2Hは、電気自動車の充電だけでなく、電気自動車から家庭への給電も可能。大容量の電気自動車の電池を家庭の蓄電池として活用できます。

あらゆる人に、さまざまな暮らしに。

太陽光パネルのみを設置の方も、将来のことを考えるならトライブリッド蓄電システム®。蓄電池やV2Hスタンドを後から追加できるので、家族の人数や暮らしに合わせてシステムをカスタマイズしていけます。

01 **太陽光発電を設置したら**
まずは太陽光パネルを設置して
自家製電気をつくりましょう。
太陽光発電 / パワコン

02 **自家消費と停電時の備えのために**
蓄電システムを買い足して、
自宅の電気をまかなう暮らし。
太陽光発電 / パワコン / 蓄電池×1

03 **自家消費率を上げるために**
家族が増えたら、
蓄電できる量を増やして。
太陽光発電 / パワコン / 蓄電池×1 ＋ 蓄電池を増設

04 **電気自動車を購入したら**
電気自動車（EV）と組み合わせて、
家もクルマも電気は自給自足に。
太陽光発電 / パワコン / 蓄電池×1 ＋ V2Hを増設

いつものドライブは太陽光発電で。

太陽光で発電した電気を電気自動車でも使用できれば、クルマのエネルギーも自給自足が可能です。V2Hだけではなく蓄電池とセットで設置すれば、昼間に電気自動車が自宅になくても大丈夫。

太陽光発電 ＋ 電気自動車
蓄電池がない状態

蓄電池がなければ発電時に余った電気をためておけないので、日中に電気自動車を使う方は発電した電気を昼間に充電できません。

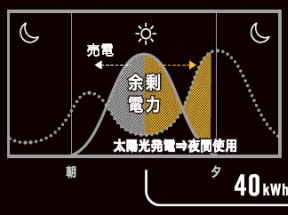
太陽光発電 ＋ 電気自動車 ＋ 蓄電池
トライブリッド蓄電システム®

蓄電池があると、昼間に太陽光発電の電気を蓄電池にためられます。さらに夜間に電気自動車へエレムーブ®が可能になります。

電気自動車活用

電気自動車を購入したら、その大容量電池を使って完全家産家消を実現。日中電気自動車が自宅にあれば、発電量が大きくても、電気自動車に蓄えておき夜間に使用できるので電力会社からなるべく電気を買わずに暮らせます。

■蓄電池のみの場合

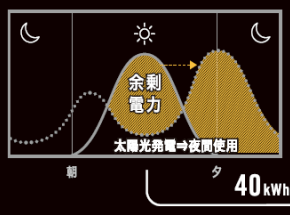


太陽光発電をすべて充電出来ないので、
夜間電力のすべてはまかなえない。

最大14.9kWh
まで充電

残りの25kWhは
すべて安く売ってしまう

■蓄電池＋電気自動車の場合



太陽光発電をすべて充電できるので、
夜間電力のすべてをまかなえる。

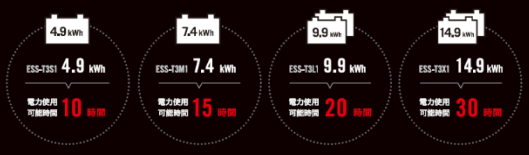
最大14.9kWh
まで充電

残りの25kWhも
すべてEVに充電

—— 消費電力　•••••• 発電電力　※前提条件として【発電量】70kWh/日【日中の消費量】30kWhの場合の比較

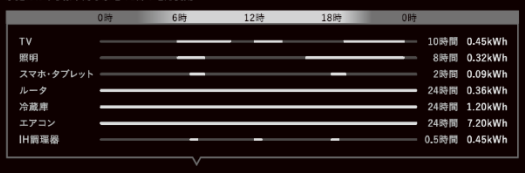
もしもの停電も、
電気を使えるから安心。

災害などで停電したときも蓄電システムがあれば、蓄えておいた電気が使えます。さらに、V2Hスタンドがあれば電気自動車にためた電気も使うことができるので、長期間の停電でも安心。



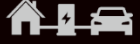
※平均的な家庭における使用電力試算値(430W/h)で算出

家庭における標準的な家電の1日の電力使用



これだけ使っても約 10 kWh だから、太陽光発電＋蓄電池で安心。

さらに....
電気自動車があれば
長期間の停電でも安心。

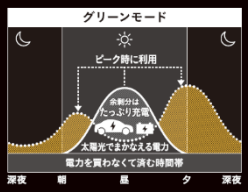


電気自動車 電池容量 70 kWh の場合
電力使用可能時間 146 時間(約6日間)※
※ニチコン調べ

3つのモードで運転コントロール

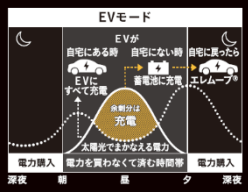
太陽光を最大限に自家消費するグリーンモード、太陽光の発電で電気自動車を充電するEVモード、太陽光で発電した電気をしっかり売る売電モードなど、ライフスタイルにあわせた3つのモードで無駄なく電気を使いこなします。

— 太陽光発電量
····· 電力使用量

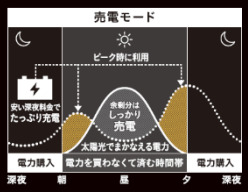


太陽光で発電した電力の余剰分を蓄電池と電気自動車に充電し自宅で使います。電力会社から電気をなるべく買わず、家産家消を目指します。

※もっと徹底に自家消費したい方はAI自動制御サービスをおすすめします。



日中に電気自動車が自宅にある時は太陽光で発電した電力をすべて電気自動車に充電。日中に電気自動車が自宅になければ蓄電池に充電し、電気自動車がつながったら自動でエレムーブ充電します。



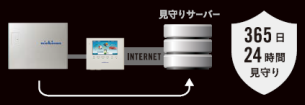
太陽光で発電した電力の余剰分をすべて売電する、売電を重視した設定です。太陽光売電効果の高い「押し上げ効果なし」に対応。

無料のネットワークサービス

過去のデータをもとにニチコンが独自開発を行ったAI自動制御サービスや、気象警報発令時などに自動的に優先して蓄電を促す気象警報自動制御など、無料サービスも充実しています。

見守りサービス

お客様が安心して蓄電システムをご利用いただけるように蓄電システムを見守るサービスです。蓄電システムのエラー発生状況を見守るだけでなく、機器のソフトウェア更新や今後の新しいサービスをネットワーク経由で提供できます。



気象警報・早期注意情報自動制御

お住まいの地域に気象警報や早期注意情報[高]が発表されたら、自動で蓄電システムを充電して停電に備えます。

気象警報自動制御

対象となる警報 【警報】大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮(波浪は除く)
【特別警報】大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮(波浪は除く)

早期注意情報自動制御

対象となる情報 早期注意情報[高](早期注意情報[中]は除く)

すぐに充電を指示(気象警報自動制御)
夜間の安い時間に充電を指示(早期注意情報自動制御)

AI自動制御

翌日の「天気情報」、「発電量」、「電力使用状況」を予測して、「余剰電力量」を算出し、卒FITユーザー向けに最適な蓄電システムの運転設定を自動で行います。

※お客様ごとに過去データからAIが予測するため、AI自動制御の登録完了後、約1週間データを蓄積してからAI自動制御が開始されます。予めご了承ください。

最適な運転計画を指示

■発売開始予定

2022 年 4 月

■目標販売台数

初年度２万５千台

製品写真

トライブリッド蓄電システム®（ESS-T3 シリーズ）

仕　様

トライブリッドパワコン®　ES-T3

外形寸法		W685×H542×D237 mm
本体質量		44 kg(取付金具含まず)
系統連系出力	電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)
	定格出力	5.9 kW
	定格出力(蓄電池のみの場合)	3.0 kW(ESS-T3S1, ESS-T3M1)
		4.0 kW(ESS-T3L1,ESS-T3X1)
	定格出力電圧	AC202 V± 12 V
	定格周波数	50または60 Hz
	定格力率	逆潮流時:0.95(標準値)
		順潮流時:1.00(0.95以上)
	電流歪率	総合電流歪率:5 % 以下(定格出力時)
		各次電流歪率:3 % 以下(定格出力時)
自立出力	電気方式	単相3線式
	定格出力	5.9 kVA(片相:3.0 kVA)
	定格出力(蓄電池のみの場合)	4.0 kVA(ESS-T3S1, ESS-TM1)
		5.0 kVA(ESS-T3L1,ESS-T3X1)
	定格出力電圧	AC202 V ± 12 V / AC101 V ± 6 V
	定格周波数	50または60 Hz
インバータ	変換方式	連系運転時:自励式電圧型電流制御方式
		自立運転時:自励式電圧歪電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波PWM方式
太陽光発電入力	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従制御(MPPT)
	入力回路数	4回路
	開放電圧(接続可能上限値)	DC 450V以下 / 1回路 ※1
	短絡電流(接続可能上限値)	15A ※1
	MPPT制御可能電圧範囲	DC50～DC425V / 1回路
	太陽光発電 起動/停止 電圧	起動時:50V　停止時:30V
	最大入力電力	2.2kW/1回路, 8.8kW/4回路
	最大動作電流(接続可能上限値)	13.5A/1回路 ※1
	接続可能容量	2.5kW/1回路　10.0kW/4回路
変換効率(系統連系時)	太陽光(放電時)	95%(定格出力時) ※2
	蓄電池(放電時)	94%(定格出力時)
	EV(放電時)	91%(定格出力時)
定格出力可能時間	系統連系時 (4.9 kWh)	88分
	自立出力時 (4.9 kWh)	53分
	系統連系時 (7.4 kWh)	135分
	自立出力時 (7.4 kWh)	98分
	系統連系時 (9.9 kWh)	131分
	自立出力時 (9.9 kWh)	109分
	系統連系時 (14.9 kWh)	200分
	自立出力時 (14.9 kWh)	164分
絶縁方式		非絶縁トランスレス方式
冷却方式		強制空冷方式 ※3
不要輻射		VCCI class B準拠 ※4
運転時騒音		40 dB-A 以下 ※5
防水防塵保護等級		IP36,IP46(水抜き穴, 吸排気口を除く場合)
設置環境	設置条件	屋外, 標高2,000 m以下
		-30 ～ +45 ℃, 重塩害非対応 ※南側設置不可
	動作温度	-20 ～ +40 ℃

※トライブリッドパワコン®は、トライブリッド蓄電システムのパワーコンディショナの登録商標です。

蓄電池ユニット/増設ユニット　ES-T3S1/ES-T3L1

外形寸法		W540×H418×D230 mm
本体質量		50 kg
蓄電池公称容量		ES-T3S1:4.9kWh
		ES-T3S1+ES-T3L1:9.9kWh
蓄電池初期実効容量		ESS-T3S1(ES-T3+ES-T3S1):4.2kWh
		ESS-T3L1(ES-T3+ES-T3S1+ES-T3L1):8.6kWh
		(JEM 1511 による)
電池種類		リチウムイオン蓄電池
電池セル定格容量		3.75 Ah
電池構成		1モジュールあたり28直6並
		全2モジュール直列構成
蓄電池定格電圧		202.7 V
蓄電池定格入力動作電圧範囲		168 V ～ 228.2 V
防水防塵保護等級		IP31/IP35(屋外設置オプション利用時)
設置環境	設置条件	標高2,000 m以下 室内、-10～+45℃、結露なきこと 屋外※6 ※7、-10～+45℃、重塩害非対応
	動作温度	-10 ～ +40℃

蓄電池ユニット/増設ユニット　ES-T3M1/ES-T3X1

外形寸法		W540×H418×D230 mm
本体質量		61 kg
蓄電池公称容量		ES-T3M1:7.4kWh
		ES-T3M1+ES-T3X1:14.9kWh
蓄電池初期実効容量		ESS-T3M1(ES-T3+ES-T3M1):6.4kWh
		ESS-T3X1(ES-T3+ES-T3M1+ES-T3X1):12.9kWh
		(JEM 1511 による)
電池種類		リチウムイオン蓄電池
電池セル定格容量		3.75 Ah
電池構成		1モジュールあたり28直9並
		全2モジュール直列構成
蓄電池定格電圧		202.7 V
蓄電池定格入力動作電圧範囲		168 V ～ 228.2 V
防水防塵保護等級		IP31/IP35(屋外設置オプション利用時)
設置環境	設置条件	標高2,000 m以下 室内、-10～+45℃、結露なきこと 屋外※6 ※7、-10～+45℃、重塩害非対応
	動作温度	-10 ～ +40℃

室内リモコン　ES-R6

外形寸法		W170×H140×D23mm
本体質量		320g
設置環境	設置条件	室内(0 ～ +40 ℃, 結露なきこと)
	動作温度	0 ～ +40 ℃

※1：モジュールの温度特性および直並列接続も含めて満足するようにしてください。
これらを満足しない太陽光発電パネルは本製品に接続できません。
※2：JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。
※3：動作中はパワーコンディショナ内蔵ファンの動作音が発生します。
壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なることがあります。
※4：電波障害となる場合がありますので、ラジオ，テレビ，アマチュア無線等の
電波を利用する機器とは 3m以上離してください。
※5：JIS C 1509-1で規定する A特性サウンドレベルを示します。
製品正面中央から 1m、高さ 1mの距離での測定値です。
※6：屋外設置のためには、蓄電池屋外用ケースが必要です。
※7：蓄電池屋外用ケース利用時でも日光が当たる場所には設置できません。

V2Hスタンド(セパレート型)&V2Hポッド　ES-T3P1/ES-T3PL1
V2Hスタンド(一体型)　ES-T3V1

型番		ES-T3P1	ES-T3PL1	ES-T3V1
外形寸法	V2Hスタンド	W520×H1180×D260mm(突起部含まず)		W520×H1180×D260mm(突起部/充放電コネクタ含まず)
	V2Hポッド	W170×H430×D173mm(突起部含まず)		-
本体質量	V2Hスタンド	61kg	61kg	69kg
	V2Hポッド	6.8kg	8.7kg	-
充放電コネクタケーブル		3.5m	7.5m	7.5m
充電部(系統連系時)	電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)		
	定格電圧	AC202 V± 12 V		
	定格周波数	50または60 Hz		
	出力電力	6kW未満※1(拡張充電時:最大9.9kW※2)		
放電部(系統連系時)	電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)		
	定格電圧	AC202 V± 12 V		
	定格周波数	50または60 Hz		
	AC出力電力	5.9kW※3		
放電部(自立時)	電気方式	単相3線式		
	定格電圧	AC202 V± 12 V		
	定格周波数	50または60 Hz		
	AC出力電力	5.9kVA(片相:3.0 kVA)※3		
車両側電圧範囲		DC150V～DC450V		
冷却方式		強制空冷方式(V2Hスタンドのみ)※4		
不要輻射		VCCI class B準拠※5		
運転時騒音		40dB-A 以下※6		
防水防塵保護等級		IP36,IP46(水抜き穴, 吸排気口を除く場合)		
設置環境	設置条件	屋外, 標高2,000 m以下 (-30 ～ +45 ℃, 重塩害非対応)		
	動作温度	-20 ～ +40℃		

※1 :機器の入力値のため、実際の充電出力とは異なる場合があります。車両の状態(車種、充電率)、契約電力等により異なる場合があります。
※2 :車両の状態(車種、充電率)、蓄電池の有無、太陽光の発電電力等によって異なる場合があります。
※3 :車両の状態(車種、充電率)よって異なる場合があります。
※4 :動作中はV2Hスタンド内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なることがあります。
※5 :電波障害となる場合がありますので、ラジオ , テレビ , アマチュア無線等の電波を利用する機器とは 3m以上離してください。
※6 :JIS C 1509-1で規定する A特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1m、高さ 1mの距離での測定値です。

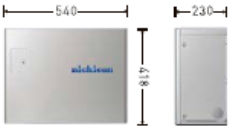
オプション

ES-T3V1	V2Hスタンド(一体型)	ES-T3H5	V2Hポッド用ポール	ES-C62	分電盤通信ケーブル20m
ES-T3P1	V2Hスタンド(セパレート型) 3.5m&V2Hポッド	ESS-R22	リモコンケーブル20m	ES-C63	分電盤通信ケーブル30m
		ESS-R24	リモコンケーブル40m	ES-C64	分電盤通信ケーブル40m
ES-T3PL1	V2Hスタンド(セパレート型) 7.5m&V2Hポッド	ESS-C22	AC/CTケーブル20m	ESS-C42	蓄電池通信ケーブル20m
		ESS-C23	AC/CTケーブル30m	ESS-C43	蓄電池通信ケーブル30m
ES-B6A	T3用専用分電盤(60A)	ESS-C24	AC/CTケーブル40m	ESS-C52	V2H通信ケーブル20m
ES-B7A	T3用専用分電盤(75A)	ESS-C32	PV/CTケーブル20m	ESS-C54	V2H通信ケーブル40m
ES-T3H2	パワコン用取付ボード	ESS-C33	PV/CTケーブル30m	ESS-CT20	CTセンサー(φ24)
ES-T3H3	蓄電池屋外用ケース	ESS-C34	PV/CTケーブル40m		

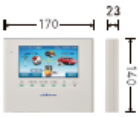
■ 製品構成ユニット (外形寸法 単位:mm)

トライブリッドパワコン®

蓄電池ユニット/増設ユニット



室内リモコン



V2Hスタンド(セパレート型)&V2Hポッド

V2Hスタンド(一体型)

ニチコン株式会社 概要

所　在　地： 京都市中京区烏丸通御池上る

代　表　者： 代表取締役会長　武田　一平

設立年月日： 1950年8月1日

資　本　金： 14,286百万円(2021年3月31日現在)

従 業 員 数： 5,209名(2021年3月31日現在　連結)

事 業 内 容： アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、
小形リチウムイオン二次電池、正特性サーミスタ“ポジアール®”、
家庭用蓄電システム、V2Hシステム、EV・PHV用急速充電器、
公共・産業用蓄電システム、スイッチング電源、
機能モジュール、医療用加速器電源、学術研究用加速器電源、
瞬低・停電補償装置など

売　上　高： 116,073百万円(2021年3月期　連結)

以　上